

次の各問いに答えよ。( ( )があるものは適語を入れよ。)(人名は、氏名を書くこと。)

- (1) 鎌倉幕府滅亡後の、天皇中心の新たな政治を( )という。しかし、公家(貴族)重視の政策に武士たちの間に失望が広がり、( )が武家政治の再興をよびかけると、は2年ほどでくずれた。
- (2) 明は、建国するとすぐに日本に( )の取り締まりを求めてきた。右の図のようなものを( )といい、これを用いたことから、明との貿易を 貿易という。
- (3) 3代将軍足利義満は、京都の( )に御所を建て、そこで政治を行うようになった。幕府には将軍の補佐役として( )が置かれ、有力な守護大名が任命された。

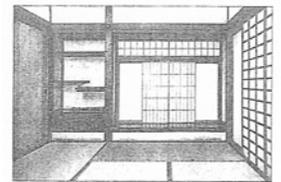


- (4) 交通の要地には物資の運送をあつかう( )や問丸(問)とよばれる運送業・倉庫業者が活動した。また、商人や手工業者は、同業者ごとに( )とよばれる団体をづくり、貴族や寺社に製品や貨幣を納めて保護を受け、営業の安全をはかった。
- (5) 農村では、かんがい用水路の建設や管理、林野の利用や管理などについての村のおきてを定める、( )とよばれる自治的な組織がつけられた。団結を固めた農民は、荘園領主や守護大名にも抵抗するようになり時には武器を取っておしかけたりした。これを( )という。
- (6) 1485年、( )国におこった一揆では、農民が守護大名を追い払い、8年近く自治を行った。また、北陸では、信仰で結びついた武士や農民たちが( )一揆をおこし、守護大名をたおし、支配が100年近くも続いた。

- (7) 実力のある者が力をのばして上の身分の者にうちかつことを( )といい、その風潮が広がって、守護大名の地位をうばって実権をにぎる( )が、各地に登場するようになった。
- (8) (7) は、城下に家来を集め、商工業者をよびよせて、( )をつくった。また右のような独自の( )もつくった。

— 本拠である朝倉館のほか、国内に城を構えてはならない。  
(朝倉孝景条々)  
— けんかをした者は、いかなる理由によるものでも処罰する。  
(甲州法度之次第)

- (9) 猿楽や田楽などの芸能は、足利義満の保護を受けた観阿弥・世阿弥父子により( )として大成された。また の合間には喜劇である( )が演じられた。
- (10) また、8代将軍( )が、京都の東山につくらせた銀閣は、右の写真のような( )と呼ばれる建築様式が取り入れられている。



- (11) 16世紀始めのヨーロッパでは、キリスト教会の腐敗が問題になり、ドイツの( )たちは、「人は神の信仰によってのみ救われる」と説いて、( )が始まった。

- (12) 1549年には、( )会の宣教師( )が、キリスト教を伝えるため来日した。は、鹿児島、山口、京都、豊後府内などで布教した。

- (13) 織田信長は、( )を有効に使った戦法により、甲斐の武田氏を長篠の戦いで破り、翌年、琵琶湖の南岸に安土城を築いた。また、各地の関所を廃止し、( )の政策をとって商工業の発展をはかった。

- (14) 秀吉は、ものさしやますを統一し、全国の田畑の広さや土地の良し悪しを調べ、予想される生産量をすべて石高であらわした。これを( )という。また、( )令を出して、武力による農民の一揆を防ぐために農民から武器を取り上げた。

- (15) 信長・秀吉の時代の文化を安土( )文化と呼ぶ。それを代表するのは、世界遺産にも登録されている姫路城などの壮大な城である。また、茶の湯では、( )が、質素な「わび茶」の作法を大成させた。